



南島原市から世界遺産を!

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

天正遣欧少年使節 4 少年の生涯 「伊東マンショ」

608年には、長崎のコレジ
勉強熱心だったマンショは、
帰国後もまたマカオへ行き神
学を勉強します。その後、1
608年には、長崎のコレジ

「伊東マンショ」の一生

天正遣欧少年使節の正使を
務めた伊東マンショは、15
69年ごろ、現在の宮崎県に
生まれました。マンショは、
日向国伊東義祐の孫で、キ
リシタン大名、大友宗麟の親
戚とされています。

伊東マンショの肖像画
長崎歴史文化博物館蔵



曼で布教活動を行いました。
一生けんめいに布教をした
マンショでしたが、無理な長
旅のせいもあって、体をこわ
します。やむなくマンショは
長崎のコレジにもどり、メ
スが、1612年11月13日、メ
スキータ神父と原マルチノ神
父にみとられて42才で亡くな
りました。マンショは4人の
中で最初に亡くなりました。

下関、中津など九州の広い範
圍で布教活動を行いました。
一生けんめいに布教をした
マンショでしたが、無理な長
旅のせいもあって、体をこわ
します。やむなくマンショは
長崎のコレジにもどり、メ
スが、1612年11月13日、メ
スキータ神父と原マルチノ神
父にみとられて42才で亡くな
りました。マンショは4人の
中で最初に亡くなりました。

伊東マンショの肖像画
長崎歴史文化博物館蔵

ヨで、原マルチノや中
浦ジュリアンとともに
司祭になり、キリスト
教を広める活動(布教
活動)を始めます。
当時は、自動車など
のない時代でしたが、
マンショは小倉の教会
を、はじめ、萩、山口、日向
下関、中津など九州の広い範
圍で布教活動を行いました。

* 出典:「旅する長崎学6」キ
リシタン文化別冊総集編
長崎
文庫社



メスキータ神父の肖像画
長崎歴史文化博物館蔵

絵には「1585年にグレ
ゴリウス13世に謁見した(会
った)豊後王フランシスコ(大
友宗麟のこと)の大使ドン
マンショ」と書かれています。

和服の上にフリルの「えり」
をつけています。ちょっとお
かしいですが、当時の西洋で
は、肌をできるだけ見せない
ようにするのがふつうでした
ので、胸元を見せないようフリ
ルの「えり」をつけていたの
だと思われま。

2005年、グレゴリウス
13世の子孫の家から、伊東マ
ンショと、引率していたボル
トガル人宣教師メスキータを
書いた絵が発見されました
(長崎歴史文化博物館蔵)。
絵の中の伊東マンショは、
和服の上にフリルの「えり」
をつけています。ちょっとお
かしいですが、当時の西洋で
は、肌をできるだけ見せない
ようにするのがふつうでした
ので、胸元を見せないようフリ
ルの「えり」をつけていたの
だと思われま。

420年の時を超え 長崎に帰ってきた

(仮称) 世界遺産市民協働会議のメンバーを募集します

～世界遺産を中心としたまちづくりに参加しませんか～

南島原市では、原城跡・日野江城跡・吉利支丹墓碑
の世界遺産登録推進に向けて、さらに、それらの文化
遺産を後世に引き継ぐために市民と行政が協働して行
動したいと考えています。

この(仮称)世界遺産市民協働会議は、市民、市内
団体・グループと行政が知恵を出し合い、共に行動す
るための指針や計画を作成し、実践するために設立す
るものです。

市民団体として自らがまちづくりへ参画するなど、
さまざまな方向から文化遺産を中心としたまちづくり
を行っていきます。

●対象者/文化遺産やまちづくりに興味を持ち、年間
数回の会議に出席できる人

●申込締切/10月29日(金)

☎ 世界遺産登録推進室 ☎050(3381)5101

子どもたちにもわかるよう“ふりがな”、“簡単な言葉”で紹介しています。

明日の世界遺産

THE TOMORROW'S WORLD HERITAGE

CHAPTER.20

もっと南島原ツアー2010

第6弾 ジオツアー「南島原の景観編」

～南島原の景観スポットを巡る～

ツアー参加者募集中!!

開催
10/17(日)
10月12日(火)締切
先着40人

コース内容

- 仁田峠第2展望所・仁田峠 ●夕日の丘
- 戸ノ開の滝(昼食含む) ●谷水棚田 ●権田公園

募集要項

- 開催日: **10月17日(日) ※雨天決行**
- 集合場所・時間: 各地区(バスで送迎) **※右記参照**
- 参加資格: 市民または市内勤務の人。
- 募集定員: 先着40人
- 参加費: 無料
- 持参品: 弁当、飲み物、タオル、帽子、雨具(雨天時)
※弁当を準備できない場合は、1個500円で注文します(要予約)。
お茶はつきません。
- 申込方法: ①名前 ②住所 ③電話番号 ④集合場所 ⑤弁当注文の有無
※上記内容を電話、FAXまたはEメールで申し込んでください。
- 申込期限: **10月12日(火)午後5時**

●集合場所・時間: 各地区バスにて送迎

地区	集合場所	出発時間	到着時間
加津佐	前浜海水浴場(交番前)	8:00	15:40
口之津	口之津庁舎前駐車場	8:10	15:50
南有馬	南有馬庁舎	8:25	16:05
北有馬	北有馬保健センター	8:35	16:15
西有家	西有家庁舎	8:45	16:25
有家	有家庁舎	8:50	16:30
布津	世紀の泉	9:05	16:45
深江	深江庁舎	9:15	16:55

※到着時間については前後する可能性があります。

申し込み・お問い合わせ ☎050(3381)5032 FAX0957(82)3086
Eメール: kankou@city.minamishimabara.lg.jp ※詳細についてはお問い合わせください。

「西洋文化が花開いたころの 南島原市にタイムスリップ」

日本ポルトガル修好150周年記念

南島原市観光ガイドの4団体が、10月から12月の3カ月間、
毎週日曜日に、ガイドツアーを実施します。

- 島原の乱最後の舞台「原城跡」を巡る(南有馬)
- ドラマチックな歴史の港町くちのつをさるく(口之津)
- 日野江の城下町と有馬セミナリヨ跡を巡る(北有馬)
- 日本最初の活版印刷の地と名僧大智禅師の史跡を訪ねる(加津佐)

☑ 期間内の毎週日曜日の午前10時と午後
1時30分の2回開催
(加津佐は、午後1時の1回開催)

☑ 500円
(口之津のみ資料館の入館料込みで700円)

☑ ツアー催行日の3日前
☑ 南島原ひまわり観光協会に電話、FAX、
Eメールで申し込んでください(氏名、
連絡先、人数を記載)。

申し込み・お問い合わせ ☎0957(76)1800 FAX0957(76)1801
Eメール: kankou@himawarinet.ne.jp URL: http://himawari-kankou.jp/
※詳細は、南島原ひまわり観光協会にお問い合わせいただくか、同協会ホームページをご覧ください。

